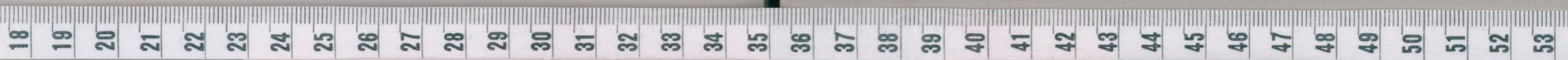
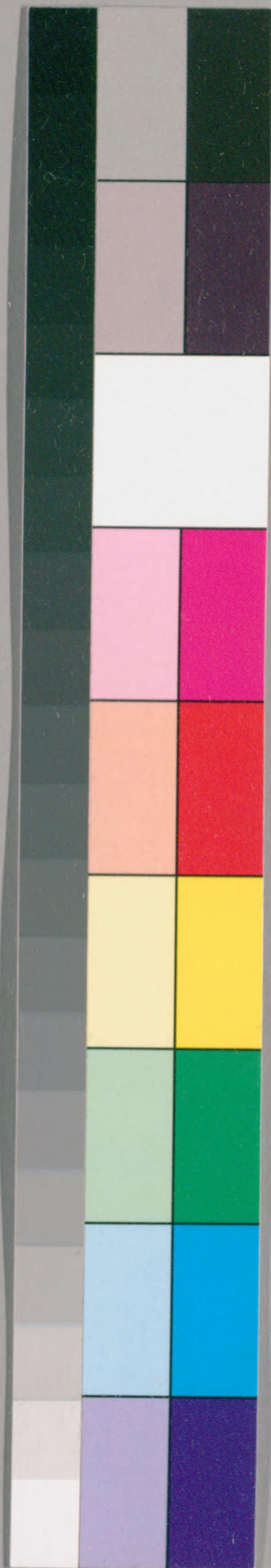


鵝經附録

二

7  
327



国立国会図書館 タイトル『鵝經』 請求記号 特7-327

ガラス使用

特7-327

樂善堂黒田齋清著  
我鵝經附録





木下国藏  
張子新田氏藏



我鳥經 附録

我鳥

家雁

舒雁

時珍曰我鳥自呼江東謂之舒雁似雁而舒

トウガン 蒼我鳥ヲ云

オホカリ 同上

ガ 筑前

ガ 筑後 聲耳ヲ以テ云フ

オホアヒル 水産 形ヲ以テ云

長頸 事林廣記 頸ノ長キヲ云

羽衣郎 名物方言

義禽 事物異名

義愛 以上二名ハ晋右軍將軍王羲之愛

スレ所故ニ云

羽衣道士 事物異名

鯢々日エ 我鳥子生レテ四月ニナル所ヲ以テ

云カ

元地奴 通雅 奴正字通奴手ニ作ル

草鳥南寧府志 草ヲ好テ食フ故ニ云

右軍日上

家居有鄉藥本草

本草綱目時珍曰江淮以南多畜之有蒼白

二色及大而垂胡者二字通領肉並綠眼黃喙紅

掌善鬪其夜鳴應更師曠禽經云脚近

驛者能步驛康我鳥鶩是也又

云我鳥伏卵則逆月謂向月取氣助卵也性能

啖蛇及蚓射工故養之能辟虫虺或云

鶩性不食生虫者不然葦明藏器曰蒼鶩

食虫云々

本邦蒼白班ノ三種アリ性能蛇及蚓ヲ啖ト云

ハ不然藏器カ虫ヲ食フトスルモ不然垂胡トハ

喉ヨリ囊下垂マルモノ也又裏ヨリ毛生セサルモノ

アリ雞卵ノ状ノ如シ又首ヨリ後ニ瘤ニ毛生スル

モノ有此モト本邦ニナシ 近喜帝ノトキ五土ヨリ

鶩ト鶴トヲモノキタル近年江戸幕夫坂駿河

長寄筑前肥後薩摩等ノ人家ニオホク産

ス寛政年中ニテ白我鳥オホクシテ蒼班ノ二色

スクナシ今以戸ニ蒼オホク白マレ也九州ニ班蒼

白トモニアリ世ニ八九羽ニ班我鳥多シト云トモ 蒼鳥ハ至テシテ

子ヲ生雛タクノ音ス班コレニ次 白又是ニ次

綱目雁條下集解弘景曰有野我鳥大于雁似

人家蒼我鳥謂之駕我鳥華夷鳥獸考曰我鳥

有二種一日鳴我鳥一日駕我鳥又曰鴉一花我鳥

不知所適

按ニ野我鳥ハ鳴ノ二種サカウラトヨフモノ即野我鳥

也一名サカホウ又サカホウ又カウラヒシクヒ又カツ

ラ又エトウ又エトウヒシクイ蕃名ウイルテ野生ト譯

スガンス我鳥ト 其形人家ノ蒼我鳥ノ雌ノ如ク夕溜

ナワカ鳥ヲトラヘ又家ニ養置時ハ三年ヲ過テ溜

生スレト鳩我鳥ノ如シ老鳥ハ家ニ養トモ溜生スル

ナシ鳴我鳥ハ即チ家我鳥也蕃名タムカニスト云トハ

家ニ産スル花我鳥ハ蒼白相文ヒラ云即ブチ也野鵝

ニ家我鳥ヲ配シテ子ヲ生スルモノ有我鳥雁ト云又鳩

ト配スルモノ有是モ又我鳥雁ト云

### 養法

庭中ニ小池ヲホリ雌雄ヲ放チモヒエ等分ニシテ

菜大根ノ葉ハユベ等ヲカフ縮ノ苜カフヲ掘置

根ヲ食シム又大唐米ヲカフモヨシ 飯ニ糠ヲカケテ

飼へし立春ヨリ十日前ニ卵ヲ生スルヲ雞ヲヤト  
ヒテアタメメ雛ヲ生ス雞ハヤキヲ用ユ小雞ニアラサレ  
ハ之月セス雞大ナレハ足大ニシテ踏テ強クメ雛損ス  
ルヤリ児生シテ來タテ飼ニシヒキ割水ニ浸メ飼又  
解テ粥ニメモ養フ菜ハユヘ等ノ青キ物ヲ食ス  
レハ生長シヤスシ翼生メモヒヒ等ヲ飼フ來タテ止ム  
飯少し食ハシムレハ羽垂足マカルノ患ナシ十月ニ至  
テ雌雄ヲ分チ一ツカヒツ、分チカフ大池ニ養長ニハ  
三四十羽モハナテ雌鳥十二ニモ放ツヘシ夜ハトヤラ仕  
立大狐ノ患ナキヤウニシテカフヘシ我鳥ノ性清水



ヲ好テ濁水ヲ嫌フ故ニ清水ニソダテタルヲ濁水ニ入レハ  
病ヲ生シテ死ス濁水ニ生タルヲ清水ニイルレハイノテ  
ナガシ○世ニ卵ノ重サ七十匁ニ至ラサレハ之月セス  
ト云試ムルニ世五匁ニテ育ス三十五匁ニテ丈夫ニソ  
タツ○我鳥ノ啼声ノアト引ステノ苗ルモノ卵ノカ  
ケノ少ク数多ク育ツ声ノ引ステトマラサレモ  
ノハ是ニ反メ形大ナリ舶來ハ形少ブリ也此方ニ生  
スレハ形大也

附録

蒼我鳥種々アリ一ヲ琉球ト云一雁ノ色ノ如クシテ



光ナシ青白ト云アリ灰白色トモ云ベシ赤フト云ハ  
赤キヲ野我鳥ノ如シ是西洋舶来ノ種又黒フト云ア  
リ黒キヲ鴻ノ如シ  
我鳥雁一雙ヲ養フモノアリ予往年是ヲ見雌我鳥卵  
六ヲアタメタリ三十日ニシテ羽化スル下鶏ノ如シ是  
一ノ奇談ナリ  
野我鳥群ヲ山城國八幡ト云所ニテ見ルニ一雙奇  
ナリアリ雄大ニシテ家我鳥ノ如シ頭上ニ十痛生シタ  
リ雌モ痛アリ是亦奇談ナリ  
文政乙酉春附録

薩藩伊集院與一ト稱スル鳥獸ニ委キ老士  
ノ話ヲキク云我鳥三ツカラ卵ヲアタメテ羽化  
スル下洋鴨ニ異ナルヲナシ又鷺鳥ノ卵ヲアタ  
メテ皆羽化スト是亦奇談ナリ



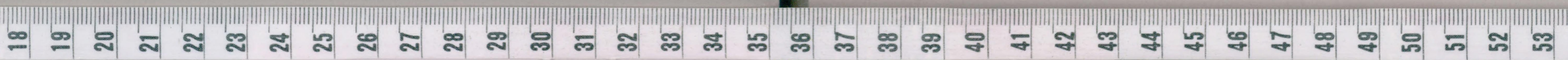
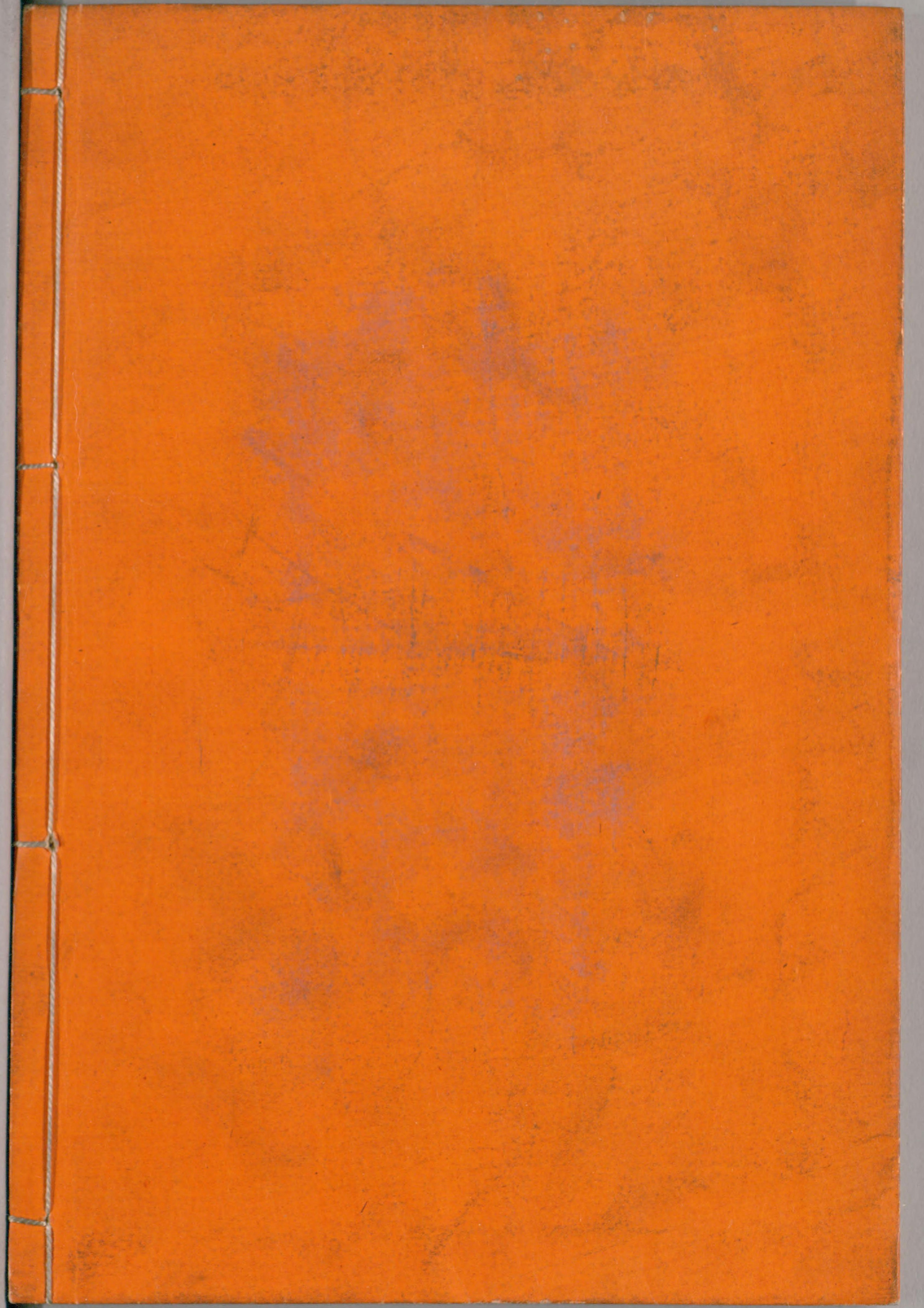


7  
327



国立国会図書館 タイトル『鵝經』 請求記号 特7-327

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『鵝經』 請求記号 特7-327

ガラス使用